

本年も課題克服に 向けて創意工夫を

新年あけまして

おめでたいございます。

あらためて昨年を振り返れば、局署等の皆さまには、ふれあいの森等における森づくり活動をはじめ、シカ害対策、准フォレスト等育成、保護林の充実等、緑の募金、森林体験活動や森林環境教育など幅広くご協力頂きありがとうございました。

進むべき

方向に沿って

今年も様々な課題がありますが、森林・林業の進むべき方向性については既に示されています。

その方向に沿って局署等が連携して創意工夫を凝らしながら進んで参りたいと考えますので、本年もご支援・ご協力よろしくお願い致します。

指導普及課一同



研究発表事例にまなぶ

「24森林ふれあい担当者等会議」資料から



24年度森林ふれあい担当者等会議（H24.7.17）資料（技術開発）で、各署等において既に研究発表された課題を抽出し、「既発表事例にまなぶ」として提案しました。これらの課題を含めて発表データ等を今後の技術開発等に活用してください。

徳島署（20年度）

課題名「民国連携による森林整備の推進」～共同施業団地での作業道・間伐の事例～

香川所（20年度）

課題名「製品生産事業等における未利用材（端尺・枝条等）の有効活用について」

愛媛署（19年度）

課題名「間伐による下層植生への影響」

四万十署（昭和48年度第1報から平成8年度まで8報）

課題名「大道マツの天然下種更新」方法の検討について」

嶺北署（20年度）

課題名「法面緑化におけるシカ害軽減方法の検討について」

高知中部署（平成21年度）

課題名「人工林の更新とニホンジカによる食害の防止対策について」

安芸署（平成19年度）

課題名「伐採方法別によるカメラ付きケープル・グループ集材の実用化について」

ふれあいセンター（平成20年度）

課題名「滑床山国有林シカ食害地の植生回復への取組」

「課題の概要」は次回以降に掲載を予定しています。

編集後記

已年。体調に留意して、家族の皆さま方と明るい一年を。今年も「本誌」のご愛読を。